



2026年5月12日

各 位

会 社 名 n m s ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 樋口 晋平
(コード：2162 東証スタンダード)
問合せ先 執行役員CSO コーポレート本部長 山田 瞬
(TEL：03-5333-1711 (代表))

2026年3月期連結業績予想と実績値との差異及び 営業外収益（為替差益）計上に関するお知らせ

2026年3月19日に公表した2026年3月期連結会計年度における通期業績予想と、本日公表の実績値との差異について以下のとおりお知らせいたします。また、2026年3月期第4四半期連結会計期間（2026年1月1日～2026年3月31日）において、営業外収益（為替差益）を計上いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2026年3月期連結業績予想と実績値との差異（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回公表予想 (A)	百万円 75,600	百万円 1,500	百万円 1,000	百万円 200	円 銭 10.42
実 績 値 (B)	75,660	1,695	1,230	308	16.07
増 減 額 (B-A)	60	195	230	108	—
増 減 率 (%)	0.1	13.0	23.0	54.2	—
(参考) 前期連結実績 (2025年3月期)	75,707	1,771	1,771	779	49.17

2. 差異の理由

2026年3月期の連結業績については、売上高は前回予想数値と概ね同水準となりました。一方、営業利益は、販売費及び一般管理費の抑制等により、前回予想数値を上回る結果となりました。また、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益も、営業利益の増加等により、前回予想数値を上回る結果となりました。

3. 営業外収益（為替差益）の計上

当第4四半期連結会計期間において、為替差益498百万円を計上いたしました。これは主に海外子会社へのグループ内貸付金に対する評価替えおよび海外子会社間の取引等によるものです。

なお、当第3四半期連結累計期間（2025年4月1日～2025年12月31日）において為替差損458百万円を計上しており、2026年3月期連結累計期間（2025年4月1日～2026年3月31日）における為替差益計上額は40百万円となりました。

なお、2026年3月期通期連結業績の詳細につきましては、本日公表の「2026年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」をご参照ください。

以上